

press release



天下太平

徳川名宝展

徳川家康没後四〇〇年記念

The 400th Anniversary of Death of Tokugawa Ieyasu
History and Treasures of the Tokugawa Shogunate :Peace Reigns over the Land

内覧会、開会式、主要作品解説、
関連イベントについて追記しました。

会 期:平成28(2016)年
4月1日(金)～5月29日(日)

休 館 日:月曜日

開館時間:9:00～17:00

- ※金曜日は20:00まで
- ※入館は閉館30分前まで
- ※4月1日は10時開場

料 金:一般 1200円(1000円)
高・大学生 700円(500円)
※中学生以下無料
※()内は前売・20名以上の団体料金



- JR広島駅より約1km ●広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぶる～ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)

 **広島県立美術館**
Hiroshima Prefectural Art Museum

【内覧会について】

「徳川家康没後400年記念 天下太平 徳川名宝展」では、開会に先立ち次の通り、内覧会を行います。

内覧とあわせて、本展監修者ならびに主催者である徳川記念財団が作品を解説いたします。報道各位におかれましては、ゆとりをもって展示内容取材していただけます。広報にご協力いただきますようお願いいたします。

日時／平成28年3月31日(木)午後2時～午後3時30分

場所／広島県立美術館 3階企画展示室入口 ロビー

内容／内覧および作品解説

【開会式について】

次の通り、「徳川家康没後400年記念 天下太平 徳川名宝展」の開会式を行います。報道各位におかれましては、取材・広報にご協力いただきますようお願いいたします。

日時／平成28年4月1日(金)午前9時30分～

場所／広島県立美術館 3階企画展示室入口 ロビー

内容／主催者紹介・挨拶、来賓紹介、協賛社紹介、テープカット、内覧

press release

【開催趣旨】

乱世を駆け抜け、戦国の覇者となった徳川家康(1542-1616)。その苦難の前半生から、平和を希う^{ねが}ところはひとしおでした。没後400年を記念する本展では、天下太平を目指した、その家康のまなざしに注目します。幼少期の人質生活、名だたる武将との合戦に明け暮れる日々、関ヶ原の合戦で勝利し天下の実権を握った後も、海外貿易の統制や朝鮮との国交回復に尽力し、武家諸法度や禁中並公家諸法度、諸宗諸本山法度等の法令を制定・公布しました。本展では、家康の遺愛品や自筆書画、消息等の資料から、その人となりを知ると共に、徳川将軍家・御三家ゆかりの寺社などに受け継がれた名宝や、太平の世のもとに成熟する武家・公家・町人らが生み出した作品等に加え、「徳川の平和(Pax Tokugawana)」とも呼ばれる江戸時代の豊かさを示す作品などを多数展示します。総点数約170点(展示替を含む)。

【展覧会の構成】

第一章 徳川家康 — 戦国の覇者

徳川家康は、古代・中世を通じて天皇・公家・寺社・武士など諸勢力がもっていた権力の分散を克服し、將軍を頂点とする一元化に着手、新たな太平の枠組みを作り上げることで、国内外の戦争によって解体した秩序を再建しました。ここに社会の均質化・同質化が進められることとなり、今日の和風・日本風などとよばれる生活様式や意識文化が形成されました。

本章では、太平の世の礎を築いた家康の生涯と個性を、400年の歳月を越えて今日に伝えられた、貴重な武具や古文書、絵画資料等でたどります。

第二章 葵の系譜 — 神君家康の血統

慶長8年(1603)2月、征夷大將軍に任じられた家康は、わずか2年で將軍職を息子の秀忠に譲り、徳川氏が政権を世襲することを天下に示しました。また当主をたやさめよう尾張・紀伊・水戸の徳川御三家を創設し、江戸幕府の地位をゆるぎないものとししました。

没後「東照大権現」と神格化され、二代將軍秀忠によって日光山内に創建された東照社では、三代將軍家光による大造替を経て、荘厳華麗な社殿が完成しました。

本章では、徳川将軍家・御三家に伝えられた家康遺品や「東照大権現像」、贅を尽して調えられた華やかな婚礼道具等から、神君家康を源流とする葵の系譜と武家文化の粋を紹介します。

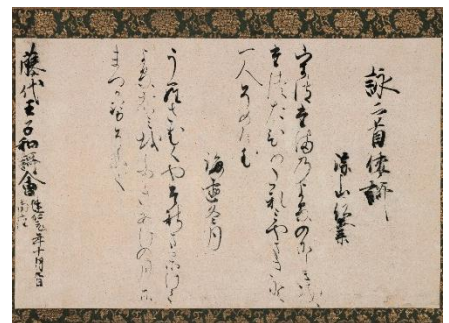
第三章 太平の世 — 威光と太平の世の表現

かつて「古今未曾有の壮观なり」と称えられた江戸城本丸御殿大広間二の間北側障壁の一本の松の巨大樹をはじめとする障壁画の制作は、権力の荘厳^{むね}を旨とした御用絵師・狩野探幽が満身の力をこめた仕事でした。一方、幕府の権威のもと太平の世を迎えた江戸、京、大坂など三都は繁栄を謳歌し、都市の住民たちの生きる姿も数多く活写されました。なかでも英一蝶は流麗の筆致で彼らの生活実感までも鮮やかに表現しています。

本章では、大規模御殿障壁画と都市住民の姿を活写した風俗画との対比を中心に、立場や時代もさまざまな、太平の世の表現の豊かさに注目します。



《金扇馬標》
静岡・久能山東照宮
第一章より



国宝
《熊野懐紙「深山紅葉・海辺冬月」》後鳥羽上皇筆
京都・陽明文庫
4/1～4/17まで展示
第二章より



重要文化財《二条城二の丸御殿 遠侍二の間 竹林群虎図》東側部分 狩野基之丞筆
京都・元離宮二条城事務所
4/1～5/1まで展示
第三章より

天下太平
徳川名宝展
徳川家康没後四〇〇年記念

press release

【主要作品解説】

重要文化財

《唐物肩衝茶入 銘 初花（大名物）》

東京・徳川記念財団（4/1～4/17まで展示）

古来唐物肩衝の白眉とされる茶入で、大名物として柳営御物第一の名宝として珍重された。「初花」は、室町幕府八代将軍足利義政の命名と伝える。東山名物を経て、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の所有となり、その後、松平備前守より元禄11年(1698)に将軍綱吉へ進上され、以後徳川宗家の重宝として伝来した。



国宝

《千代姫婚礼調度 初音蒔絵大角赤手箱》

愛知・徳川美術館（4/1～5/1まで展示）

三代将軍家光の長女・千代姫が、尾張家二代光友へ嫁いだ際に持参した手箱の一種である。

初音の調度の名は、『源氏物語』の「初音」の帖「年月を 松にひかれて ふる人に 今日鶯の 初音きかせよ」の歌意を全体の意匠とし、その歌の文字を葎手書きに散らしているところに由来している。



重要文化財

《二条城二の丸御殿 遠侍三の間 竹林群虎図》

西側部分 狩野甚之丞筆

京都・元離宮二条城事務所(5/3～5/29まで展示)

徳川将軍家が威信をかけて建築した二条城の巨大障壁画。玄関・遠侍に猛獣を描くのは、武家御殿障壁画の方式で、訪れた大名たちは将軍の武威・威光を目の当たりにした。



重要文化財

《布晒舞図》

英一蝶筆

埼玉・遠山記念館（4/1～5/1まで展示）

長い晒を巧みにあやつり舞う。布晒舞の名もそれによる。明るく賑やかなこの場の雰囲気は、ほぼそのまま一蝶の生きた時代、江戸の住民たちの心情につながるものであったろうか。小品ながら一蝶一代の傑作。



press release

【主要作品解説】

《東照大権現像》

東京・徳川記念財団

元和9年(1623)春に家光が夢に聞いたお告げに従い春日局に探索させ、発見後川越仙波より献上させた画像が本作だという。いわゆる家光霊夢に関係する画像であるが、背景に日光山の社頭風景を配するのは、一連の霊夢像と異なる。精緻で謹直な描写と縦176.0cmという東照大権現像としては破格の法量から將軍家のモニュメンタルな儀礼を契機に、家光霊夢の由緒に結びつけつつ制作されたものと考えられる。

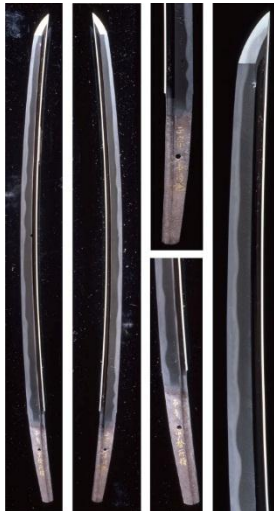


国宝

《刀 金象嵌銘 正宗 本阿(花押)》

東京・文化庁

享保4年(1719)に本阿弥光忠によって編録された『名物帳』に掲載される名物中務正宗。名の由来は本多忠勝(中務大輔)が桑名在城中に本阿弥光徳の取次で入手したことにある。忠勝から徳川家康に献上され、將軍家から水戸徳川家に贈られ、さらに甲府綱豊(のちの六代將軍家宣)に伝わり、以後將軍家に長く所蔵された。正宗は、相模国鎌倉の新藤五国光の門人と伝える刀工で、江戸時代には粟田口吉光、江義弘とともに三作にあげられた。



《熊毛植黒糸威具足》

愛知・徳川美術館

徳川家康着用。桐製黒漆の大きな水牛の角を象った脇立てが兜の両側に突き出し、胴・小手・草摺など総体に熊の毛皮を貼り付け、黒糸で威している。全身真黒の中に真紅の面頬が鮮やかで、奇抜な意匠は当世具足の特徴をよく示す。家康から尾張家初代義直に譲られた甲冑で、尾張家では別格扱いされ、名古屋城小天守内で他の具足と区別して、二畳の上畳の上に白木脚付の台を置き、その上に具足櫃を乗せ、布を懸けて保管していた。



重要文化財

《染分練緯地斜縞銀杏葉雪輪模様胴服》

東京・東京国立博物館(5/3~5/29まで展示)

石見銀山、佐渡金山で功を立てた鉾山師の吉岡隼人に下賜され、子孫の吉岡家に代々大切に伝えられた胴服。白、浅葱、紫の斜め段に染め分け、雪輪文を白抜き、銀杏葉は黄の絞り染めに茶と銀泥の彩色。雪輪文には墨の線描き。斜めの段を下文として他の文様を上には散らす意匠は、かつてなかった新しい意匠である。段の幅を色の濃いものほど太くするといった工夫、絵羽合わせも見事。17世紀に入り、辻が花は技法も意匠も完成期を迎えた。



press release

【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。ご了承ください。

※テレビ・新聞におけるニュース報道については事前校正等を省略することが可能です。

【関連イベント】

講演会(共催 広島県立美術館 友の会)

①「太平の世の美術」

日時:4月1日(金) 13時30分～[受付開始/30分前]

場所:地下講堂(定員/先着200名)

講師:榊原 悟(本展監修者、岡崎市美術博物館長)

聴講無料、事前申込不要。

②「パクス・トクガワーナへの道(仮題)」

日時:4月17日(日) 13時30分～[受付開始/30分前]

場所:地下講堂(定員/先着200名)

講師:徳川恒孝(徳川宗家18代当主、公益財団法人徳川記念財団理事長)

聴講無料、事前申込不要。

③「辻ヶ花に迫る! ~復元・修理を通して~」

日時:5月8日(日)13時30分～[受付開始/30分前]

場所:地下講堂(定員/先着200名)

講師:矢野俊昭(染織文化財修復家)

聴講無料、事前申込不要。

美術講座

「御用絵師狩野派と広島」

日時:5月22日(日)13時30分～[受付開始/30分前]

場所:地下講堂(定員/先着200名)

講師:隅川明宏(当館学芸員)

聴講無料、事前申込不要。

学芸員によるギャラリートーク

日時:4月8日、4月22日、5月13日、5月27日(金)各日11時～

聴講無料。入館券をお求めの上、会場入口付近でお待ちください。

ウェブレポーター大募集!

日時:4月8日(金) 17時～19時30分

受付:3階ロビー

対象:インターネットを通して本展PRにご協力いただける一般の方
実施当日に限って本展にご招待します。

徳川名宝展

天下太平

徳川家康没後400年記念

press release

【関連イベント】

守屋純子×中村健吾ジャズデュオ・コンサート

日時:4月16日(土) 13時~

場所:1階ロビー

演奏:ピアノ/守屋純子 ベース/中村健吾

曲目:「徳川家康公ジャズ組曲」ほか

鑑賞無料、事前申込不要。

出演者プロフィール:

守屋純子(ピアニスト・コンポーザー)

早稲田大学卒業後、マンハッタン音楽院修士課程終了。2005年CD“Points Of Departure”が、第18回ミュージック・ペンクラブ賞を受賞。同年、米国セロニアス・モンク・コンペティション作曲部門で、東洋人としてまた女性として初の優勝に輝く。スペイン、インド、ロシアなど海外でもたびたび演奏しており、2008年“モンターレージャズフェスティバル”を初めとした米国ツアー、同年と2009年に、フランス・ツアーを行う。2015年10月、家康公顕彰400周年を記念して岡崎市より委嘱を受けた「家康公ジャズ組曲」を中心とした8枚目のリリダーCD<Play For Peace>を発表。教育活動にも熱心で、“山野ビッグバンドコンテスト”“浅草ジャズコンテスト”等の審査員や、全国で学生・社会人ビッグバンドの指導なども行なっている。尚美学園大学・昭和音楽大学講師。



中村健吾(ベーシスト・コンポーザー)

大阪市出身、1991年、パークリー音楽大学卒業後、ニューヨークへ移る1997年、ウイントン・マルサリスが音楽監督を務めるリンカーンセンター・ジャズ・オーケストラに参加。マルサリス・カルテットのメンバーとして、クリントン前大統領主催のプレジデント・サミットで演奏する。1998年、サイラス・チェスナット・トリオに加入。2000年、渡辺貞夫カルテットツアーに参加。2001年、小曽根真プロデュースのデビューアルバム「Divine」(Verve) を発表。グラミー賞にノミネートされたマルサリスのアルバム「Live at the House of Tribes」(Blue Note) では、クインテットのメンバーとしてライブレコーディングに参加。小曽根真率いるビッグバンド「No Name Horses」のメンバー。2012年10月、7枚目のアルバム「Songs in My Life Time」(55 Records)をリリース。



ゆるキャラ®グランプリ2015 グランプリ獲得

出世大名家康くん in ひろしま

日時: 5月5日(木・祝)①10時30分~ ②13時30分~ ③15時30分~

場所:3階ロビー(定員/各回先着50組)

内容:はままつ福市長・家康くんと握手をして出世運を授かるう!

各回30分前から3階ロビーにて整理券を配布、入館券をご提示ください。

ワンコイン縮景園

本展入館券のご提示により、一般・大学生・高校生は100円で縮景園にご入園いただけます。

【特別メニュー】

当館1階レストラン Zona ITALIA in Centro (ゾーナ イタリア イン・チェントロ)

期間限定! 天下太平 徳川名宝展特別メニュー

本展にあわせて期間限定で提供する天下太平 徳川名宝展特別メニューとして、前菜は徳川家康の好物とされる鯛と押し麦を使った「鯛のフリット 押し麦のリゾット」、パスタには権力の象徴とも言える刀をモチーフにした太刀魚とフレッシュトマトをベースにした「太刀魚と焼きナスのフレッシュトマトスパゲティ」、デザートにはこちらも徳川家康の好物とされるアズキをイタリア風アレンジしたオリジナルデザート「抹茶とあずきのティラミス」。

また、当館3階ティールーム 徒夢創家(トムソーヤ)では、特別メニューとして徳川家康にゆかりのある銘菓「安倍川もち」をご用意しております。詳しくは、当館ホームページまで。

右上/太刀魚と焼きナスのフレッシュトマトスパゲティ
右下/抹茶とあずきのティラミス
左下/鯛のフリット 押し麦のリゾット



press release

【開催概要】

展覧会名称

徳川家康没後400年記念 天下太平 徳川名宝展

展覧会英語名

The 400th Anniversary of Death of Tokugawa Ieyasu
History and Treasures of the Tokugawa Shogunate: Peace Reigns over the Land

会期

2016(平成28)年4月1日(金)～5月29日(日)

9:00～17:00

※金曜日は20:00まで

※入館は閉館30分前まで

※4月1日は10時開場

休館日

月曜日

料金

一般 1200(1000)円 高・大学生700(500)円 中学生以下無料

※()内は前売り・20名以上の団体料金

・学生券をお求めの際は学生証のご提示をお願いします。

・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。

前売券販売所

広島県立美術館、セブン-イレブン(セブンチケット <http://7ticket.jp>)、ローソンチケット(Lコード 64325)、広島市・呉市内の主なプレイガイド・画廊・画材店、ゆめタウン、フジ、中国新聞社読者広報部、中国新聞各販売所(取り寄せ)など

開催クレジット

主催 広島県立美術館、テレビ新広島、イズミテクノ、中国新聞社、公益財団法人徳川記念財団

後援 広島商工会議所、広島経済同友会、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、

FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMIはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

協賛 テラル、広島県信用組合、いのうえグループ、賀茂鶴酒造、にしき堂、広島ガス、広島銀行、広島市信用組合、

広島信用金庫、広島電鉄、広島東照宮、フマキラー、豊国工業、マツダ、三菱倉庫、もみじ銀行、日本宝樹会、

ブラッツ、オタフクソース、サイエンス、中国醸造、中国電力、中国放送、中電工、徳川チェーン、フジタ

特別協力 日光東照宮、久能山東照宮、大樹寺、日光山輪王寺、増上寺、寛永寺、公益財団法人徳川黎明会、

公益財団法人徳川ミュージアム

問い合わせ先

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22 TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail. ke.yamamoto@nomura-g.jp (山本宛)

担当 学芸課 隅川 明宏、事業推進課 山本恵子